

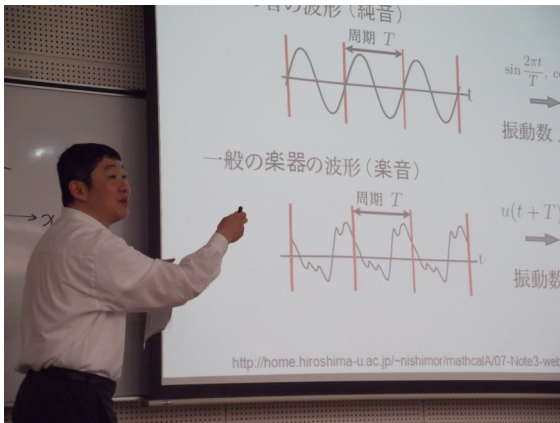
数理の世界

担当教員： 石尾 広武

履修年次・区分： 1～3年（共通—教養—人間と自然—選択）

授業のテーマ： 自然や社会現象を理解する上で役に立つ数理の世界を探索し、数理的思考を用いた課題形成と解決に取り組む事ができる力を養う。その中で、解析や代数、統計処理の基本とともに、都市のデザインやビジネスモデル、開発構想といった専門科目の学習や日常生活においても役立つ数学の基礎学習を通して、数学リテラシーを養う。

この日の授業内容： フーリエ解析



音は波形で表すことができ、周期関数ととらえることができます。フーリエ級数とは、複雑な周期関数を単純な形の周期性をもつ関数の和によってあらわす方法で、電気工学、音響学、経済学などで使われています。三角関数なんて一体全体人生で何の役に立つんだ!と思ってたらこんなところに関わってたんですね。



線積分の計算をしている学生を見守る石尾先生。文系出身で、数学なんて別世界の話、という学生の多い本学ですが、この授業が身近な事象と数理の世界の橋渡しをしてくれます。

(2014年1月取材)